



八 剣 山 通 信

第21号

八 剣 山 発 見 隊

2004年 2 月 9 日 発行

2月8日(日)

「雪だるまギネスに挑戦」を開催しました。

【行事の概要】

雪でおおわれた真っ白な大地から、澄みきった青空にそびえ立っている八剣山。ふもとの果樹園の木々は、まだ雪深い中ゆっくりと眠りに付いています。春に向かって、日差しが一日一日と、まぶしくなってきました。

その八剣山のふもと、冬の短い日差しの中で、一日を家族や友人たちと一緒に、雪に親しんですごしてみませんか。

八剣山果樹園を会場として、皆さんに雪だるまを制作していただき、札幌市内で開催されている「第3回スノーメモリアル雪だるまづくり」に登録していただきます。制作していただいた雪だるまのコンテストを同時に開催し、優秀な作品には、1位から3位まで及び特別賞を用意しています。

また、雪玉で的に当てるゲームを行い、得点の高い参加者には1位から3位までの賞品を用意しています。

このほかに、ワイルド・ムスタングスさんのご協力により、会場周辺で馬そりの無料試乗会を開催します。

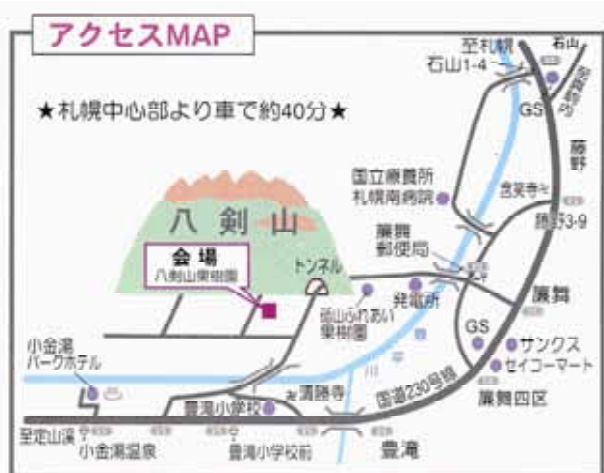
バーベキューハウスの中では、納豆づくり体験会を開催し、皆さんに自宅でも簡単に出来る納豆の作り方を体験していただくほか、八剣山の周辺で収穫された果物や野菜及び畑の土の中で越冬させてきた越冬野菜の展示即売会を開催します。

今回は、初めての取り組みとして、会員の皆さんの家庭で眠っているものを持ち寄ってオークションを開催し、収益については八剣山発見隊の今後開催を予定している行事の資金とさせていただくとともに、収益の一部を、障がい者の自立に向けた活動のための寄付に、使わせていただくこととしています。

- ・主 催 : 八剣山発見隊
- ・後 援 : 札幌市農政部



【今回の行事実施場所】



【行事の感想】

時々薄日の差す穏やかな日、八剣山のふもとに150人近くの人が集まり、楽しい一日を過ごしました。

雪だるまの制作では、昨年の11個に比べ今年は20個と倍近くに増え、また内容も、昨年以上にパンダやゴジラなどのユニークな雪だるまが増えました。

バーベキューハウス内では、湯澤さんの指導のもと納豆づくりが行われ、おいしい納豆を自宅で作ろうと、熱心にメモを取る奥様方も見受けられました。

午後からは、会場周辺を一周するコースで馬そりの無料試乗会が行われ、子供だけでなく大人も楽しんでいました。中には、2回、3回と試乗する子供も見受けられました。

雪玉の的当てゲームは、赤鬼と青鬼の体の部分に番号を振り、その番号に雪玉を当てて得点を競いましたが、1位は2人で、それも小学生でした。大人はどうした!。

昼食の時間を利用して行ったオークションには、会員の皆さんが多く品の物を持ち寄りました。その収益の一部から、来年、長野県で行われる「知的障がい者のスペシャルオリンピック」の日本委員会に、寄付することとしました。

ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。



【最優秀作品と八剣山】

【今後の行事予定】

- ・ 3月14日 雪中山歩きと歩くスキー体験
- ・ 3月21日 世界の農業を考える講演会

発行：八剣山発見隊事務局（八剣山果樹園）
061-2275 札幌市南区砥山126番地
Tel 011-596-2280 FAX 011-596-2280
<http://sapporo.cool.ne.jp/hakkentai/>

2月8日 雪だるまギネスに挑戦



【会場での雪だるま制作風景】



【雪だるまの完成です】



【納豆の制作風景】



【オークションに出展された品々】



【乗馬試乗会】



【雪玉による的当てゲーム】

